

平成25年8月2日

千葉県総合支援協議会 会長 高梨憲司様

銚子市地域自立支援協議会 会長 岩井美春

旭市地域自立支援協議会 会長 野口厚司

匝瑳市障害者自立支援協議会 会長 日色昭浩

民家を転用したグループホーム・ケアホームの建築基準法上の取り扱いに関する要望書

グループホーム・ケアホームに対する地域のニーズは高まる一方です。しかし、建築基準法上の取り扱いによりグループホーム・ケアホームを簡単には増やすことのできない状況になりつつあります。つきましては、下記のとおりお願い申し上げます。

記

1. 民家を転用し障害者のグループホーム・ケアホームとして活用する建物について、安全上の要件を満たした場合に建築基準法上「住宅」として取り扱うことができる千葉県独自基準設定、もしくは改修等の整備費助成制度策定について要望いたします。

海匝圏域のグループホーム・ケアホームのほとんどの建物が賃貸物件を利用したものです。障害者グループホーム等は新しい建築物の用途であり、建築基準法では規定されていません。建築基準法上では施設の規模・配置及び各室の独立性等から判断して用途の取り扱いを決めることとなるため、グループホーム・ケアホームは「寄宿舍」「共同住宅」「児童福祉施設等」として取り扱われることが多い現状があります。これを同法に適合させることを徹底すると消防法上の規定により防火壁や非常用照明などの必要以上の設備を求められることになります。

グループホーム・ケアホームに対する地域のニーズは高まる一方です。しかし、グループホーム・ケアホームを簡単には増やすことのできない状況になりつつあり、このままでは、地域のニーズに答えられなくなるばかりか、グループホーム・ケアホームの運営もできなくなるのではないかと危惧しております。

つきましては、今後もグループホーム・ケアホームを増やしていくために、この問題を県全体の課題として自立支援協議会にて取り上げていただき、民家を転用し障害者のグループホーム・ケアホームとして活用する建物を、建築基準法上「住宅」として取り扱うことができる千葉県独自基準設定、もしくは、改修に係る整備費助成制度策定に向けてご尽力いただけるように要望いたします。